

令和8年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

保健体育

受験 番号		氏 名	
----------	--	------------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 5 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）保健体育科の目標である。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、a 課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を（ ① ）として捉え、（ ② ）にわたって心身の健康を保持増進し豊かな（ ③ ）を継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) b 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・（ ④ ）について理解するとともに、c 技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての（ ⑤ ）や社会の課題を発見し、合理的、（ ⑥ ）な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に（ ⑦ ）力を養う。
- (3) （ ② ）にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の（ ⑧ ）を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

- (1) 文中の（ ① ）～（ ⑧ ）に当てはまる語句を答えよ。
- (2) 下線部 a において、「体育」、「保健」についてそれぞれどのような学習過程が考えられるか、説明せよ。
- (3) 下線部 b について理解するとは、主に「体育」における何を身に付けることか、答えよ。
- (4) 下線部 c について、どのような技能を身に付けることか、2つ答えよ。
- (5) 「体育」、「保健」の標準単位数について、それぞれ数字で答えよ。
- (6) 「体育」の運動に関する7つの領域を全て答えよ。（順不同）
- (7) 「保健」は、第2章第6節保健体育第3款1(4)において、「原則として入学年次及びその次の年次の2か年にわたり履修させるものとする」とあるが、その理由を答えよ。

2 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「保健体育編 体育編」第3章 第1節「指導計画作成上の配慮事項」の内容について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 「『体育』の目標を達成するためには、意図的、計画的な学習指導を展開する必要がある。」と示されているが、卒業までの見通しを立てた上で、目標や内容等を的確に定め、指導計画を作成する際、生徒に関する考慮すべき事項と、生徒以外に関する考慮すべき事項を1つずつ答えよ。
- (2) 指導計画の作成に当たり配慮することとして、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。」と示されている。生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進める際に、どのような観点が求められているか、具体的に2つ答えよ。
- (3) 「主体的・対話的で深い学びは、必ずしも（ ）単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。」と示されているが、（ ）に当てはまる数字を答えよ。
- (4) 「目標で示した『見方・考え方』の捉え方を踏まえ、各運動領域の特性や魅力に応じた体を動かす（ ）や特性に触れる喜びを味わうことができるよう、また、健康の大切さを実感することができるよう指導方法を工夫することが大切である。」と示されているが、（ ）に当てはまる語句を答えよ。
- (5) 「障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。」と示されているが、指導する際に配慮すべき事項を答えよ。

3 次の表は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「保健体育編 体育編」で示されている「ゴール型のボール操作とボールを持たないときの動きの例」である。後の(1)～(2)の問いに答えなさい。

技能	小学校 5・6年生	中学校 1・2年生	中学校3年生 高校入学年次	高校 その次の年次以降
様相	ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをする	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする	安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする	(①)に応じたボール操作と空間を(②)などの動きによって空間への侵入などから攻防をする
ボール操作	・近くににいるフリーの味方へのパス ・相手に取られない位置でのドリブル ・得点しやすい場所への移動とパスを受けてからのシュート	・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすること ・マークされていない味方にパスを出すこと ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すこと ・パスやドリブルなどでボールをキープすること	・ゴールの枠内にシュートを(③)すること ・味方が操作しやすいパスを送ること ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること	・防御をかわして(④)やゴールにボールを運ぶこと ・(ア) ・空いた空間に向かってボールを(③)して運ぶこと ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、(イ) ・(⑤)を整える時間を作るためにボールを動かすこと
ボールを持たないときの動き	・ボール保持者と自分の間に守備者が入らない位置への移動 ・得点しやすい場所への移動とパスを受けてからのシュート ・ボール保持者とゴールの間に体を入れた守備	・ボールとゴールが(⑥)に見える場所に立つこと ・パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くこと ・ボールを持っている相手をマークすること	・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れること ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること ・ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること ・ゴールとボール保持者を結んだ(⑧)で守ること ・ゴール前の空いている場所を(⑨)すること	・自陣から(④)の侵入しやすい場所に移動すること ・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために(ウ) ・侵入する空間を作り出すために、チームの作戦に応じた移動や動きをすること ・得点を取るためのフォーメーションや(⑦)などのチームの役割に応じた動きをすること ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすること ・味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるための(⑨)の動きをすること ・一定のエリアから得点をしにくい空間に(エ)

(1) 文中の(①)～(⑨)に当てはまる語句を答えよ。

(2) 文中の(ア)～(エ)に当てはまる文を答えよ。

4 科目「保健」現代社会と健康 (1) 現代の感染症とその予防について、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 下表の①に当てはまる語句を答えよ。

病名	病原体	潜伏期間	主な症状など
(①)	(①) トレポネーマ	3～6週	陰部の潰瘍など様々な症状を起こす。自覚症状がない場合も多い。

(2) 子宮頸がんの原因と考えられているウイルスの名称を答えよ。

(3) 性感染症の検査の際には、パートナーと一緒に受診することが望ましい理由を答えよ。

(4) 日本では1980年代に汚染された血液製剤によるHIVの感染が問題になったが、血液製剤とはどんな医薬品か、説明せよ。

(5) 血液中におけるHIVの抗原・抗体の有無を調べる検査では、HIVに感染した場合、通常何週間ほどで陽性となるか、数字で答えよ。

(6) 正常の宿主に対しては病原性を発揮しない病原体が、宿主の抵抗力が弱っている時に病原性を発揮しておこる感染症を何というか、答えよ。

5 次の(1)～(9)の問いに答えなさい。

(1) サッカーにおいて、オフサイドポジションにいる味方競技者がボールを直接受けてもオフサイドの違反とならないケースがある。コーナーキック、スローインとあと1つは何か、答えよ。

(2) 卓球のラケットについて、次の①と②の種類をそれぞれ答えよ。

①

②

(3) 水泳の背泳ぎの授業において、生徒から「鼻に水が入らない呼吸法を教えてほしい」と申し出があった。どのような指導が考えられるか、答えよ。

(4) 水泳のバタフライの授業において、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりするために、体のうねりが大きくなりすぎないように泳ぎを身に付けさせたい。その練習方法を簡潔に答えよ。

(5) バドミントンにおけるラケットの握り方の名称を1つ挙げ、その握り方でシャトルを打つ際の特徴を説明せよ。

(6) ゴールボールの授業を実施する際、競技の特徴を踏まえ、どのような指導の留意点や工夫が考えられるか、答えよ。

(7) バスケットボールにおけるトラベリングとは、どのような反則行為を指すか、説明せよ。

(8) 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 科目「体育」領域「ダンス」の記述の一部である。文中の①～③について当てはまる語句を答えよ。

G ダンス [入学年次]

ダンスは、(①), (②), (③) で構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることを楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

(9) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「第2部体育編 第2章 第6節 スポーツV（野外の運動）」の中で示されている競技型の野外の運動を2つ答えよ。

保健体育解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号		氏 名	
----------	---------	----------	--	--------	--

(8 年)

1

(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧			
(2)	【 体 育 】					
	【 保 健 】					
(3)						
(4)						
(5)	体 育	単 位	保 健	単 位		
(6)						
(7)						

2

(1)	(生 徒)	(生 徒 以 外)	
(2)			
(3)	単 位	(4)	
(5)			

保健体育解答用紙	2 枚 中 の 2	受験 番号		氏 名	
----------	-----------	----------	--	--------	--

(8 年)

3

(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	
(2)	ア					
	イ					
	ウ					
	エ					

4

(1)		(2)	
(3)			
(4)		(5)	週 間
(6)			

5

(1)		(2)	①		②	
(3)						
(4)						
(5)	(ラケットの握り方)		(特徴)			
(6)						
(7)						
(8)	①		②		③	
(9)						

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名		(8 年)
----------	---------	------	--	----	--	---------

1
(7 4 点)

(1)	①	一 体 (3 点)	②	生 涯 (3 点)	③	ス ポー ツ ラ イ フ (3 点)
	④	安 全 (3 点)	⑤	自 他 (3 点)	⑥	計 画 的 (3 点)
	⑦	伝 え る (3 点)	⑧	向 上 (3 点)		
(2)	【体育】 各領域特有の特性や魅力に応じた課題や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための課題等を発見し、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止等の科学的な知識や技能及びスポーツライフをより豊かにするための知識等を活用して、計画を立て、実践し、評価するといった課題解決の過程などを活用して、自らの学習活動を振り返りつつ、仲間とともに課題を解決し、次の学びにつなげられるようにするといった学習の過程 (4 点)					
	【保健】 個人及び社会生活における健康・安全の内容から自他や社会の課題を発見し、健康情報や知識を吟味し、活用して多様な解決方法を考えるとともに、これらの中から、適切な方法を選択・決定し、個人生活や社会生活に活用したりする学習の過程 (4 点)					
(3)	知 識 (3 点)					
(4)	運 動 の 楽 し さ や 喜 び を 深 く 味 わ う た め の 運 動 の 技 能 (4 点)					
	個 人 及 び 社 会 生 活 を 中 心 と し た 内 容 に 関 わ る 基 本 的 な 技 能 (4 点)					
(5)	体 育	7 ～ 8 単 位 (3 点)	保 健	2 単 位 (3 点)		
(6)	体 つ く り 運 動 (3 点)		器 械 運 動 (3 点)		陸 上 競 技 (3 点)	
	水 泳 (3 点)		球 技 (3 点)		武 道 (3 点)	
	ダ ンス (3 点)					
(7)	入 学 年 次 及 び そ の 次 の 年 次 に 各 1 単 位 を 配 当 し 、 計 画 的 、 継 続 的 に 履 修 さ せ る こ と に よ っ て 指 導 の 効 果 を 上 げ る よ う に す る た め 。 (4 点)					

2
(2 5 点)

(1)	(生徒) 生徒の特性 (3 点)	(生徒以外) 学校や地域の実態、中学校との関連 (3 点)
(2)	主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか (4 点)	
	対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか (4 点) (その他) 学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかなど	
(3)	1 単位 (3 点)	(4) 楽しさ (3 点)
(5)	生徒の障害の種類と程度を家庭、専門医等と連絡を密にする 個別の課題設定をして生活上の困難を克服するために学習に配慮する 教材、練習やゲーム及び試合や発表の仕方等を検討する 参加可能な学習の機会を設けるなどの生徒の実態に応じたきめ細やかな指導に配慮する。 (5 点)	

保健体育解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名		(8 年)
----------	---------	------	--	----	--	---------

3
(3 9 点)

(1)	①	状況 (3 点)	②	埋める (3 点)	③	コントロール (3 点)
	④	相手陣地 (3 点)	⑤	隊形 (3 点)	⑥	同時 (3 点)
	⑦	セットプレイ (3 点)	⑧	直線上 (3 点)	⑨	カバー (3 点)
(2)	ア	味方が作り出した空間にパスを送ること (3 点)				
	イ	味方と相手を見ながらボールをキープすること (3 点)				
	ウ	味方が作り出した空間に移動すること (3 点)				
	エ	相手や相手のボールを追い出す守備の動きをすること (3 点)				

4
(2 0 点)

(1)	梅毒 (3 点)	(2)	ヒトパピローマウイルス (3 点)
(3)	自分だけ治療を受けても、パートナーが感染したままだと自分がまた感染してしまうため (4 点)		
(4)	人の血液もしくは、そこから得られたものを有効成分とする医薬品 (4 点)	(5)	4 週間 (3 点)
(6)	日和見感染症 (3 点)		

5
(4 2 点)

(1)	ゴールキック（3点）	(2)	①	ペンホルダー（3点）	②	シェークハンド（3点）
(3)	顔に水がかからない局面で口を開けて息を吸うことを指導する 顔に水がかかりやすい局面では、口を閉じて鼻から息を出し続けることを指導する（3点）					
(4)	イルカ飛びからの1ストロークバタフライ ・ 顔上げバタフライ（3点）					
(5)	(ラケットの握り方) ウエスタングリップ イースタングリップ（3点）		(特徴) シャトルに当てやすいが、体の周りの球を打ち返しにくいときがある 遠くまで飛ばす、力強い球を打つ際に有効（3点）			
(6)	ゴールボールの映像を見せて、大まかな試合の流れやルールを理解させておく 安全面に配慮し、床にものを置かない、めがねなどは身につけない 見えなくても音を聞けば、ボールの行方がわかることを実感させる（3点）					
(7)	ボールを持ったまま3歩以上進む ビボットの軸足を途中で替える など（3点）					
(8)	①	創作ダンス（3点）	②	フォークダンス（3点）	③	現代的なリズムのダンス （3点）
(9)	スキー（3点）			スノーボード スケートなど（3点）		